

Cloud Virtual Machine

クイックスタート

製品ドキュメント



著作権声明

©2013–2026 Tencent Cloud. 著作権を所有しています。

このドキュメントは、Tencent Cloudが著作権を専有しています。Tencent Cloudの事前の書面による許可なしに、いかなる主体であれ、いかなる形式であれ、このドキュメントの内容の全部または一部を複製、修正、盗作、配布することはできません。

商標に関する声明



およびその他のTencent Cloudサービスに関連する商標は、すべてTencentグループ下の関連会社主体により所有しています。また、本ドキュメントに記載されている第三者主体の商標は、法に基づき権利者により所有しています。

サービス声明

本ドキュメントは、お客様にTencent Cloudの全部または一部の製品・サービスの概要をご紹介することを目的としておりますが、一部の製品・サービス内容は変更される可能性があります。お客様がご購入されるTencent Cloud製品・サービスの種類やサービス基準などは、お客様とTencent Cloudとの間の締結された商業契約に基づきます。別段の合意がない限り、Tencent Cloudは本ドキュメントの内容に関して、明示または黙示の一切保証もありません。

カタログ:

クイックスタート

カスタム設定によるLinuxインスタンスの購入

カスタム設定によるWindowsインスタンスの購入

クイックスタート

カスタム設定によるLinuxインスタンスの購入

最終更新日: 2025-09-08 16:33:33

CVMのクイック設定と異なり、カスタム設定はより豊富なイメージプラットフォーム、ストレージ、帯域幅、セキュリティグループなどの高度な設定をご提供し、ニーズに応じた適切な設定の選択が可能です。このドキュメントではカスタム設定を例にご説明します。

登録と認証

CVMを使用する前に、次の準備作業を完了する必要があります。

1. Tencent Cloudアカウントを登録し、実名認証を完了します。

新規ユーザーは、Tencent Cloud公式サイトで [登録](#) を行う必要があります。具体的な操作については、[Tencent Cloudアカウントの登録](#) をご参照ください。

2. [Tencent CloudCVM説明ページ](#) にアクセスし、[今すぐ購入](#) をクリックします。

基本設定の選択

⚠️ ご注意:

初回購入アカウントの場合、デフォルトでクイック設定ページに移動します。CVMを購入済みのユーザーの場合は、デフォルトでカスタム設定ページに移動します。CVMを未購入の場合は、[カスタム設定](#) を選択し、カスタム設定操作を行ってください。

1. 画面の指示に従って次の情報を設定します。

カテゴリー	入力必須/オプション	設定説明
課金モデル	入力必須	実際のニーズに応じて選択してください。 <ul style="list-style-type: none">● 従量課金: CVMのElastic課金モデルは、eコマースでの買い占め買い漁りなど機器の需要が瞬間的に大きく変動するシーンに適しています。● スポットインスタンス: 新しいインスタンスの動作モードで、ビッグデータコンピューティング、CLBを採用したオンラインサービスおよびサイトサービスなどのシーンに適しており、一般的な価格帯は従量課金の10% ~ 20%です。
リージョン	入力必須	アクセスのレイテンシーを低減し、アクセス速度を向上させるために、お客様のユーザーに最も近いリージョンを選択することを

		お勧めします。
アベイラビリティゾーン	入力必須	実際のニーズに応じて選択してください。複数のCVMを購入する必要がある場合は、異なるアベイラビリティゾーンを選択することで障害復旧効果を実現することをお勧めします。 詳細情報については、 リージョンとアベイラビリティゾーン をご参照ください。
インスタンス	入力必須	現在Tencent Cloudは、下位層ハードウェアに応じてさまざまな種類のインスタンスをご提供しています。最適なパフォーマンスを実現するために、新しいインスタンスタイプのご使用をお勧めします。 インスタンスの詳細については、 インスタンス仕様 をご参照ください。
イメージ	入力必須	Tencent Cloudはパブリックイメージ、カスタムイメージ、共有イメージを提供しています。詳細については イメージタイプ を選択してください。 Tencent Cloudを使用し始めたばかりのユーザーは、パブリックイメージを選択することを推奨します。
システムディスク	入力必須	OSのインストールに使用されます。容量はデフォルトで50GBです。 リージョンによって、選択可能なCBSの種類が異なります。 実際の画面の指示に従って選択してください。CBSについては、 CBSタイプ をご参照ください。
データディスク	オプション	CVMのストレージ容量を拡張し、効率的で信頼性の高いストレージデバイスを提供するために使用されます。CBSデータディスクはデフォルトでは追加されません。 CBSについては、 CBSタイプ をご参照ください。
定期スナップショット	オプション	システムディスクまたはデータディスクに定期スナップショットポリシーを設定できます。 定期スナップショットの詳細については、 定期スナップショット をご参照ください。
数量	入力必須	購入が必要なCVMの数を示します。

2. 次へ: ネットワークおよびホストの設定をクリックして、ホストの設定ページに進みます。

ネットワークとホストの設定

1. 画面の指示に従って次の情報を設定します。

カテゴリー	入力必須/オ	設定説明
-------	--------	------

	プッシュ	
ネットワーク	入力必須	<p>Tencent Cloud上に構築された、論理的に隔離されているネットワークスペースを示します。1つのVirtual Private Cloud(VPC)は、少なくとも1つのサブネットで構成されます。システムは各リージョンにデフォルトのVPCとサブネットを提供します。</p> <p>既存のVPC/サブネットが要件を満たしていない場合は、VPCコンソールで作成できます。</p> <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 同じVPC内のリソースはデフォルトでプライベートネットワークで相互接続されます。 ● 購入時には、CVMと同じアベイラビリティゾーンプロパティを持つサブネットでCVMを作成する必要があります。
パブリックIP	オプション	<p>CVMにパブリックネットワークアクセス機能が必要な場合、CVMにパブリックIPを割り当てる必要があります。CVMの作成時にパブリックIPの割り当てを選択、またはCVM作成後に Elastic IP を設定する必要があります。</p>
帯域幅課金モデル	オプション	<p>Tencent Cloudは、以下の2つのネットワーク課金方式をご提供しています。実際のニーズに応じて選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トラフィック使用量による課金: 実際のトラフィック使用による課金です。ピーク帯域幅を制限することで、予期せぬトラフィックによって生じる料金を回避することができ、瞬時帯域幅がこの値を超えるとパケットロスが発生します。ネットワークの変動が大きいシナリオに適しています。 ● 共有帯域幅パッケージに応じた課金: 業務中のパブリックネットワークのトラフィックピークが異なる時間帯に分散しているとき、共有帯域幅パッケージによって帯域幅の集約課金の実現できます。これは、大規模な業務やパブリックネットワークのさまざまなインスタンスがトラフィックピークシフトを形成できるシナリオに適しています。 <p>詳細については、パブリックネットワーク課金モデル をご参照ください。</p>
帯域幅の値	オプション	<p>必要に応じてCVMのパブリックの帯域幅上限を設定することができます。</p> <p>詳細については、パブリックの帯域幅上限 をご参照ください。</p>
セキュリティグループ	入力必須	<p>1台または複数のCVMのネットワークアクセス制御を設定するために使用されます。</p> <p>ログインポート22が有効になっていることを確認してください。</p> <p>詳細な情報については、以下をご参照ください セキュリティグループ。</p>

タグ	オプション	必要に応じてタグをCVMに追加し、クラウドリソースの分類、検索および集約に使用することができます。 詳細については タグ をご参照ください。
インスタンス名	オプション	作成するCVMの名前を示します。ユーザーによるカスタマイズが可能であり、「CVM-01」が推奨されます。
ログイン方法	入力必須	ユーザーがCVMにログインするための方法を設定します。実際のニーズに応じて設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● パスワードの設定: インスタンスのログインパスワードをカスタム設定します。 ● すぐにキーをバインドする: SSHキーをバインドすると、SSHキーを介してCVMにより安全にログインします。キーがない場合、または既存のキーが適切でない場合は、今すぐ作成をクリックして作成できます。他のSSH キー情報は SSHキー をご参照ください。 ● パスワードの自動生成: 自動生成されたパスワードは サイト内メッセージ の方式で送信されます。
インスタンスの削除保護	オプション	デフォルトでは無効になっています。実際のニーズに応じてチェックを入れてください。インスタンスの削除保護を有効にすると、コンソールまたはAPIによってインスタンスを削除することができなくなります。インスタンスの削除保護に関するその他の説明については、 インスタンスの削除保護の有効化 をご参照ください。
セキュリティ強化	オプション	デフォルトでは、無料でアクティブにできます。これにより、ユーザーはサーバーセキュリティ保護システムを構築でき、データ漏洩を防ぎます。
TCOP	オプション	デフォルトでは無料でアクティブにできます。立体的なCVMデータ監視、インテリジェントなデータ分析、リアルタイムな故障アラート、およびデータレポートのカスタマイズ構成を提供します。これにより、ユーザーは業務とCVMのヘルス状態を正確に把握できます。
TAT	オプション	デフォルトでは、無料でアクティブにできます。CVMネイティブオペレーションデプロイツールとして、インスタンスにリモート接続せずにShell コマンドを自動バッチ実行でき、自動化オペレーションスクリプトの実行、プロセスのポーリング、ソフトウェアのインストール/アンインストール、アプリケーションの更新、パッチのインストールなどのタスクを完了できます。
高度な設定	オプション	実際のニーズに応じてインスタンスにより多くの設定を行うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● ホスト名: ユーザーは、CVM OS内のコンピュータ名をカスタム設定できます。CVMが正常に稼働した後に、CVMにログインして照会できます。

- **所属プロジェクト**: デフォルトではデフォルトプロジェクトであり、実際のニーズに応じて作成済みのプロジェクトを選択し、それぞれのCVMの管理に用いることができます。
- **CAMロール**: ロールを設定すると、ロールを介してCVMにTencent Cloud内のサービス、操作、リソースのアクセス権限を付与することができます。詳細は、[インスタンスロールの管理](#)を参照して設定することができます。
- **配置グループ**: 必要に応じてインスタンスを配置グループ内に追加し、業務の可用性を向上させることができます。詳細は、[配置グループ](#)を参照して設定することができます。
- **カスタムデータ**: カスタムデータを指定することでインスタンスを設定します。これは、インスタンス起動時の実行を設定したスクリプトです。一度に複数のCVMを購入すると、カスタムデータはすべてのCVMで実行されます。Linux OSはShell形式をサポートし、最大16KBのオリジナルデータをサポートします。詳細は、[カスタムデータ](#)をご参照ください。
注意: カスタムデータ設定は、一部のCloudinitサービス付きのパブリックイメージのみサポートします。詳細は、[Cloud-Init](#)をご参照ください。

2. 次へ: [構成情報の確認](#)をクリックして、構成情報の確認ページに進みます。

設定情報の確認

1. 購入したCVMの各設定、および料金明細を照合します。
2. 「『Tencent Cloudサービス契約』に同意する」を読んでチェックを入れます。
3. 実際のニーズに応じて、次の操作を実行できます。
 - **起動テンプレートに保存の選択**: このインスタンスの設定を起動テンプレートに保存します。起動テンプレートを保存して迅速にインスタンスを作成することができます。詳細は、[インスタンス起動テンプレートの管理](#)をご参照ください。
 - **API Explorerベストプラクティススクリプトの作成を選択**: 選択した設定に対応するOpenAPIベストプラクティススクリプトコードを発行して、同じ設定のCVMを購入する際に使用できるように保存することができます。詳細については、[インスタンスAPI Explorerのベストプラクティススクリプトの発行と作成](#)をご参照ください。
4. **今すぐ購入またはアクティブ化**をクリックし、支払いを完了します。
支払いが完了すると、[CVMコンソール](#)にアクセスし、お客様のCVMを確認することができます。
CVMインスタンス名、パブリックIPアドレス、プライベートIPアドレス、ログイン名、初期ログインパスワードなどの情報は、[サイト内メッセージ](#)の形でアカウントに送信されます。これらの情報を使用してインスタンスへのログイン、管理ができます。また、ホストのセキュリティを保護するためにできるだけ早くCVMのログインパスワードを変更してください。

インスタンスのログインと接続

CVMの操作が完了したら、Tencent Cloudのコンソールを介してCVMにログインし、実際のニーズに応じてサイト構築などの操作を実行できます。

Tencent CloudコンソールからCVMにログインする方法については、実際のニーズに応じて、該当するログイン方法を選択してください。

- [標準ログイン方式を使用してLinuxインスタンスにログイン \(推奨\)](#)
- [リモートログインソフトウェアを使用してLinuxインスタンスにログイン](#)
- [SSHを使用してLinuxインスタンスにログイン](#)

データディスクのパーティションとフォーマット

[モデルの選択](#) の際に、データディスクを追加している場合は、インスタンスにログインした後にデータディスクをフォーマットし、パーティションを作成する必要があります。データディスクを追加していない場合は、この手順をスキップできます。

ディスク容量のサイズとCVM OSの種類に応じて、適切な操作ガイドを選択してください。

- ディスク容量が2TB未満の場合：
[CBSの初期化 \(Linux\)](#)
- ディスク容量が2TB以上の場合：
[CBSの初期化 \(Linux\)](#)

その他の操作ガイドについては、[初期化シナリオについて](#) をご参照ください。

カスタム設定によるWindowsインスタンスの購入

最終更新日: 2025-09-08 16:38:29

CVMのクイック設定と異なり、カスタム設定はより豊富なイメージプラットフォーム、ストレージ、帯域幅、セキュリティグループなどの高度な設定をご提供し、ニーズに応じた適切な設定の選択が可能です。このドキュメントではカスタム設定を例にご説明します。

登録と認証

CVMを使用する前に、次の準備作業を完了する必要があります。

- Tencent Cloudアカウントを登録し、実名認証を完了します。
新規ユーザーは、Tencent Cloud公式サイトで [登録](#) を行う必要があります。具体的な操作については、[Tencent Cloudアカウントの登録](#) をご参照ください。
- [Tencent CloudCVM説明ページ](#) にアクセスし、[今すぐ購入](#) をクリックします。

基本設定の選択

⚠️ ご注意:

初回購入アカウントの場合、デフォルトでクイック設定ページに移動します。CVMを購入済みのユーザーの場合は、デフォルトでカスタム設定ページに移動します。CVMを未購入の場合は、カスタム設定を選択し、カスタム設定操作を行ってください。

- 画面の指示に従って次の情報を設定します。

カテゴリー	入力必須/オプション	設定説明
課金モデル	入力必須	実際のニーズに応じて選択してください。 <ul style="list-style-type: none">従量課金: CVMのElastic課金モデルは、eコマースでの買い占め買い漁りなど機器の需要が瞬間的に大きく変動するシーンに適しています。スポットインスタンス: 新しいインスタンスの動作モードで、ビッグデータコンピューティング、CLBを採用したオンラインサービスおよびサイトサービスなどのシーンに適しており、一般的な価格帯は従量課金の10% ~20%です。
リージョン	入力必須	アクセスのレイテンシーを低減し、アクセス速度を向上させるために、お客様のユーザーに最も近いリージョンを選択することをお勧めします。

アベイラビリティゾーン	入力必須	実際のニーズに応じて選択してください。 複数のCVMを購入する必要がある場合は、異なるアベイラビリティゾーンを選択することで障害復旧効果を実現することをお勧めします。詳細情報については、 リージョンとアベイラビリティゾーン をご参照ください。
インスタンス	入力必須	現在Tencent Cloudは、下位層ハードウェアに応じてさまざまな種類のインスタンスをご提供しています。最適なパフォーマンスを実現するために、新しいインスタンスタイプのご使用をお勧めします。 インスタンスの詳細については、 インスタンス仕様 をご参照ください。
イメージ	入力必須	Tencent Cloudはパブリックイメージ、カスタムイメージ、共有イメージを提供しています。 詳細については イメージタイプ を選択してください。Tencent Cloudを使用し始めたばかりのユーザーは、パブリックイメージを選択することを推奨します。
システムディスク	入力必須	OSのインストールに使用されます。容量はデフォルトで50GBです。 リージョンによって、選択可能なCBSの種類が異なります。実際の画面の指示に従って選択してください。 CBSについては、 CBSタイプ をご参照ください。
データディスク	オプション	CVMのストレージ容量を拡張し、効率的で信頼性の高いストレージデバイスを提供するために使用されます。CBSデータディスクはデフォルトでは追加されません。 CBSについては、 CBSタイプ をご参照ください。
定期スナップショット	オプション	システムディスクまたはデータディスクに定期スナップショットポリシーを設定できます。定期スナップショットの詳細については、 定期スナップショット をご参照ください。
数量	入力必須	購入が必要なCVMの数を示します。

2. 次へ: ネットワークおよびホストの設定をクリックして、ホストの設定ページに進みます。

ネットワークとホストの設定

1. 画面の指示に従って次の情報を設定します。

カテゴリー	入力必須/オプション	設定説明
-------	------------	------

ネットワーク	入力必須	<p>Tencent Cloud上に構築された、論理的に隔離されているネットワークスペースを示します。1つのVirtual Private Cloud(VPC)は、少なくとも1つのサブネット構成されます。システムは各リージョンにデフォルトのVPCとサブネットを提供します。</p> <p>既存のVPC/サブネットが要件を満たしていない場合は、VPCコンソールで作成できます。</p> <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 同じVPC内のリソースはデフォルトでプライベートネットワークで相互接続されます。 ● 購入時には、CVMと同じアベイラビリティゾーンプロパティを持つサブネットで作成する必要があります。
パブリックIP	オプション	<p>CVMにパブリックネットワークアクセス機能が必要な場合、CVMにパブリックIPを割り当てる必要があります。CVMの作成時にパブリックIPの割り当てを選択、またはCVM作成後に Elastic IP を設定する必要があります。</p>
帯域幅課金モデル	オプション	<p>Tencent Cloudは、以下の2つのネットワーク課金方式をご提供しています。実際のニーズに応じて選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トラフィック使用量による課金: 実際のトラフィック使用による課金です。ピーク帯域幅を制限することで、予期せぬトラフィックによって生じる料金を回避することができ、瞬時帯域幅がこの値を超えるとパケットロスが発生します。ネットワークの変動が大きいシナリオに適しています。 ● 共有帯域幅パッケージに応じた課金: 業務中のパブリックネットワークのトラフィックピークが異なる時間帯に分散しているとき、共有帯域幅パッケージによって帯域幅の集約課金の実現できます。これは、大規模な業務やパブリックネットワークのさまざまなインスタンスがトラフィックピークシフトを形成できるシナリオに適しています。 <p>詳細については、パブリックネットワーク課金モデル をご参照ください。</p>
帯域幅の値	オプション	<p>必要に応じてCVMのパブリックの帯域幅上限を設定することができます。</p> <p>詳細については、パブリックの帯域幅上限 をご参照ください。</p>
セキュリティグループ	入力必須	<p>1台または複数のCVMのネットワークアクセス制御を設定するために使用されます。</p> <p>ログインポート3389が有効になっていることを確認してください。</p> <p>詳細な情報については、以下をご参照ください セキュリティグループ。</p>
タグ	オプション	<p>必要に応じてタグをCVMに追加し、クラウドリソースの分類、検索および集約に使用することができます。詳細については タグ をご参</p>

		照ください。
インスタンス名	オプション	作成するCVMの名前を示します。 ユーザーによるカスタマイズが可能であり、「CVM-01」が推奨されます。
ログイン方法	入力必須	ユーザーがCVMにログインするための方法を設定します。実際のニーズに応じて設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● パスワードの設定: インスタンスのログインパスワードをカスタム設定します。 ● パスワードの自動生成: 自動生成されたパスワードは サイト内メッセージ の方式で送信されます。
インスタンスの削除保護	オプション	デフォルトでは無効になっています。実際のニーズに応じてチェックを入れてください。インスタンスの削除保護を有効にすると、コンソールまたはAPIによってインスタンスを削除することができなくなります。インスタンスの削除保護に関するその他の説明については、 インスタンスの削除保護の有効化 をご参照ください。
セキュリティ強化	オプション	デフォルトでは、無料でアクティブにできます。これにより、ユーザーはサーバーセキュリティ保護システムを構築でき、データ漏洩を防ぎます。
TCOP	オプション	デフォルトでは無料でアクティブにできます。立体的なCVMデータ監視、インテリジェントなデータ分析、リアルタイムな故障アラート、およびデータレポートのカスタマイズ構成を提供します。これにより、ユーザーは業務とCVMのヘルス状態を正確に把握できます。
TAT	オプション	デフォルトでは、無料でアクティブにできます。CVMネイティブオペレーションデプロイツールとして、インスタンスにリモート接続せずにShell コマンドを自動バッチ実行でき、自動化オペレーションスクリプトの実行、プロセスのポーリング、ソフトウェアのインストール/アンインストール、アプリケーションの更新、パッチのインストールなどのタスクを完了できます。
高度な設定	オプション	実際のニーズに応じてインスタンスにより多くの設定を行うことができます。 ホスト名 : ユーザーは、CVM OS内のコンピュータ名をカスタム設定できます。CVMが正常に稼働した後に、CVMにログインして照会できます。 所属プロジェクト : デフォルトではデフォルトプロジェクトであり、実際のニーズに応じて作成済みのプロジェクトを選択し、それぞれのCVMの管理に用いることができます。 CAMロール : ロールを設定すると、ロールを介してCVMにTencent Cloud内のサービス、操作、リソースのアクセス権限を付与すること

ができます。詳細は、[インスタンスロールの管理](#) を参照して設定することができます。

配置グループ: 必要に応じてインスタンスを配置グループ内に追加し、業務の可用性を向上させることができます。詳細は、[配置グループ](#) を参照して設定することができます。

カスタムデータ: カスタムデータを指定することでインスタンスを設定します。これは、インスタンス起動時の実行を設定したスクリプトです。一度に複数のCVMを購入すると、カスタムデータはすべてのCVMで実行されます。Windows OSはPowerShell形式をサポートし、最大16KBのオリジナルデータをサポートします。詳細は、[カスタムデータ](#) をご参照ください。

注: カスタムデータ設定はWindowsパブリックイメージのみをサポートしています。詳細については、[注意事項](#) をご参照ください。

2.次へ: [構成情報の確認](#) をクリックして、構成情報の確認ページに進みます。

設定情報の確認

- 購入したCVMの各設定、および料金明細を照合します。
- 「『Tencent Cloudサービス契約』に同意する」を読んでチェックを入れます。
- 実際のニーズに応じて、次の操作を実行できます。
 - 起動テンプレートに保存の選択:** このインスタンスの設定を起動テンプレートに保存します。起動テンプレートを保存して迅速にインスタンスを作成することができます。詳細は、[インスタンス起動テンプレートの管理](#) をご参照ください。
 - API Explorerベストプラクティススクリプトの作成を選択:** 選択した設定に対応するOpenAPIベストプラクティススクリプトコードを発行して、同じ設定のCVMを購入する際に使用できるように保存することができます。詳細については、[インスタンスAPI Explorerのベストプラクティススクリプトの発行と作成](#) をご参照ください。
- 今すぐ購入またはアクティブ化をクリックし、支払いを完了します。

支払いが完了すると、[CVMコンソール](#) にアクセスし、お客様のCVMを確認することができます。

CVMインスタンス名、パブリックIPアドレス、プライベートIPアドレス、ログイン名、初期ログインパスワードなどの情報は、[サイト内メッセージ](#) の形でアカウントに送信されます。これらの情報を使用してインスタンスへのログイン、管理ができます。また、ホストのセキュリティを保護するためにできるだけ早くCVMのログインパスワードを変更してください。

インスタンスのログインと接続

CVMの操作が完了したら、Tencent Cloudのコンソールを介してCVMにログインし、実際のニーズに応じてサイト構築などの操作を実行できます。

Tencent CloudコンソールからCVMにログインする方法については、実際のニーズに応じて、該当するログイン方法を選択してください。

- [標準方式を使用してWindowsインスタンスにログイン \(推奨\)](#)
- [RDPファイルを使用してWindowsインスタンスにログイン](#)
- [リモートデスクトップを利用してWindowsインスタンスにログイン](#)

データディスクのフォーマットとパーティション

[モデルの選択](#)の際に、データディスクを追加している場合は、インスタンスにログインした後にデータディスクをフォーマットし、パーティションを作成する必要があります。データディスクを追加していない場合は、この手順をスキップできます。

ディスク容量のサイズとCVM OSの種類に応じて、適切な操作ガイドを選択してください。

- ディスク容量が2TB未満の場合：
[CBSの初期化 \(Windows\)](#)
- ディスク容量が2TB以上の場合：
[CBSの初期化 \(Windows\)](#)

その他の操作ガイドについては、[初期化シナリオについて](#) をご参照ください。